

ミャンマー 震災支援の お願い

2025年3月28日にミャンマー第2の都市マンダレーでMW7.7の大地震が起きました。政府の発表では死者数約3,600人（米国地質学会では1万人以上）となっています。地震は紛争の激化や気候災害など、同国の子どもたちの状況がすでに高いリスクにさらされている中での出来事でした。

発災から4か月が経ちましたが未だ苦しい生活を送るミャンマーの人々を少しでも支えるため、募金へのご協力をよろしくお願いいたします。

募金期間

2025/8/3～8/31

◆受付横に募金箱を設置いたします。

送金先：国際医療NGOジャパンハート

◆武蔵野教会として献金いたします。

担当：薄井

確実に募金を届けるために

送金先



ジャパンハートは、「医療の届かないところに医療を届ける」を理念に国内外で活動する日本発祥の国際医療NGOです。

ジャパンハートは1995年に小児外科医・吉岡秀人が単身ミャンマーで医療支援をはじめたことをきっかけに、2004年の団体設立時より20年以上同国で活動に取り組んでいます。その医療拠点が、今回震源地とされるミャンマー中部にあるザガイン管区のワッチェ慈善病院です。



ジャパンハート活動動画



吉岡医師

◆個人でも直接送金していただけます。

ゆうちょ銀行

口座記号番号：00910-3-166806

加入者名：特定非営利活動法人ジャパンハート

ご依頼人：お名前・ご住所



2021年クーデター

かつてビルマと呼ばれたミャンマーで、2021年2月1日早朝、国軍によるクーデターが発生。ミャンマーの現代史においては3回目となるクーデターです。軍は前年の総選挙での不正を口実に、アウンサンスーチー国家顧問ら民主派政権の幹部を拘束、非常事態を宣言して全権を掌握。反発した市民の抗議デモは武力闘争に発展し、人々の自由と平穏な暮らしは崩れていきました。3年が経つ現在でも一部少数民族と連携し、国軍との戦闘が激化しています。地元人権団体によるとクーデター後、4500人近い市民が国軍に殺害され、計約2万6000人が拘束、避難民は約230万人にのぼります。

2024年5月



📺TBS報道特集



📺NHK

クローズアップ現代



📺映画『夜明けへの道』 📺『夜明けへの道』

会場で

被災地の現在①

◆救助活動さえ「軍政の厳しい監視」

〈東京新聞 2025年5月7日 15時00分〉

最大都市ヤンゴン在住の男性は、仲間と500キロ以上離れた中部マンダレーなどに赴き、被災者の救助や食料配布などをしてきた。軍政の発表では、地震で3700人以上の死者が出ている。男性は救助活動で困難な点として「資材や道具の不足」を指摘するとともに「**軍政側の監視が厳しく、完全には活動が許可されない**」ことを挙げる。

被災現場での支援の軸は、ボランティア団体などが担っているという。ミャンマーでは、2021年のクーデターで実権を握った国軍と民主派や少数民族との内戦が続く。震源に近い北部ザガイン地域（被災地の一つ）は激戦地の一つだ。

◆**国際支援も軍政を通すと、中抜きされたり、民主派の支配地に届かなかったりする恐れをはらむ**。男性は国際社会に「現地の団体と連携し、困っている人に支援物資が直接届くようにしてほしい」と呼びかけた。

被災地の現在②

ミャンマー大地震から3か月 国際社会の継続的な支援不可欠 〈NHKニュース〉

2025年6月28日 6時07分

被災地では、資金不足などから住宅の再建や企業活動の再開が進んでおらず、**国際社会からの継続的な支援が求められています**。

被災地の現在③

〈2025年7月26日〉

軍は地震直後も空爆をしました。これまでの**国際的な支援金は被害者には届いていないようです**。地震の後も支援はなく、被災者らは、自力でゴミの撤去をしているそうです。地震後のマンダレーでは、先週の金曜日から徴兵のため、マンダレーの町にいる全世帯を対象にくじ引きをしました。全員が当たるように、最初から手配されていて、当たる番号が小さい方から順番で、軍に入ることです。軍と区長の家族、親戚、お金持ちの中国系の人達はくじ引きの対象外です。

〈ヤンゴン在住の卒業生の声〉

外から祖国を支援



私はヤンゴンから車で1時間半くらいのところに住んでいて、子どもの頃から特に不便もなく、普通に幸せに暮らしてきました。ミャンマーでは昔から内戦とかあったみたいなんですけど、正直、私はあんまり実感していませんでした。自分の周りは平和だったから、国で何が起きてるのかもよく分かっていなかったのですが、デモに出た知り合いが捕まったり、刑務所でひどいことされて亡くなったりって話を聞くようになって、すごくショックでした。軍は「ミャンマーは平和」ってアピールしたいから、**都市部は一見落ち着いているように見せていますが、実際には中部や北部、東のほうでは学校も病院も街も空爆されてるって聞きます**。ミャンマーって、今は本当に“お金があればなんとなかなる”って国で、逆にお金がない人は生きていくのも大変です。命の重さすらお金で決められるような感じです。

今の私にできることは少ないですが、教育の力で将来を変えられるって信じて、日本に来ました。国内で支援活動するのは本当に危なくて、いつ捕まるか分かりません。でも、海外から支援すればバレにくいし、軍も手を出しにくい。だから、日本にあるNPOとかNGOみたいな団体で、将来ミャンマーを支援できたらいいなって思っています。

〈日本に留学中の学生Aさんの声〉